

学校教育基本方針 (教育理念)	歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助を柱とした歯科衛生士の資格を取得するため高度な技術と、理論に関する深遠な考察を醸成し、専門職にふさわしい強い意志と豊かな情操を養い、歯科衛生士という立場から社会に貢献しようとする人間教育をめざすものである。
学校教育目標	1 自主・自律を重んじ、意欲ある学生の育成 2 地域・社会に貢献できる歯科衛生士の育成
重点努力目標	1 身なりを清潔にし、歯科衛生士としての知識と技術の醸成 2 時間を守り、何事にも積極的に取り組む行動力の定着 3 社会人として通用するコミュニケーション力の育成 4 地元就職への市歯科医師会との連携強化

(1) 評価実施基準日 中間10月1日、年度末2月1日

(2) 評価基準4：十分達成している 3：達成している 2：あまり達成されていない 1：ほとんど達成されていない

(3) 評価者 教職員8名。年度末（ ）は昨年度比

項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題 ○印：成果等（プラス面など） ●印：課題等（マイナス面など）
			中間	年度末	
教育課程・学習指導	専門教科やその他の科目を効果的に取り入れ「基礎力」を育成する。	専門科目とその他の教科をバランスよく配分し、「基礎力」の育成と自主的な学習ができるよう指導を行う。	3. 0	3. 0 (±0)	○1年は後期より演習の時間に各自授業内容を復習する時間に充て試験前に焦らないよう意識付けを行った。○定期試験前に自学計画表を配布し、担当職員と一緒に計画し試験に臨むことが出来た。これにより、テストに対する不安感が減少し成績も向上した。○小テストを行なうことにより、基礎を身に付ける自学の習慣がついてきた。
	即戦力となるような職業教育カリキュラムを編成する。	校内の実習・演習系の科目をなるべく多く配し、就職先となる病院等の職場に類似した状況で学習できるように努める。	3. 3	3. 3 (±0)	○より臨床に近い実習を授業の中に取り入れる事が出来た。○実習に携わる講師陣は、現役のDr、DHの為、現場に類似した内容を学習できている
		就職先となる病院等での現場実習などを行う科目を配し、実際の仕事が体験できるように努める。	3. 4	3. 5 (±0)	○昨年度個数が足りていない器具を購入し授業に使用している(ラバーダムクランプフォーセップス、デンタルプローブ等)臨床に近い環境となるよう歯科材料にも配慮をした。○臨床実習先でどのような内容で実習を行っているか学生から情報を入れ、その内容を取り入れた授業を展開できた。○口腔ケア、介護の実習を行っている。
指導方法の工夫や企業等の人材を活用し実践的な「基礎力」を育成する。	病院等の現場で必要となる「基礎力」は暗記ではなく体得するものであるということに、生徒自ら“気づく”ように努める。	3. 3	3. 5 (+0. 4)	○診療補助の授業では患者役となる学生に対して声掛けや思いやりの配慮ができるようになってきた。○実習では細かく実技試験を行い、また試験前には放課後に補習を行い学生3の基礎力の向上に努めた。●患者様に対する配慮ができていない学生とできていない学生の差がある。○臨床実習後に学生アンケートを実施し、そこで得た現場の情報を基に学内実習に取り入れている。●基礎力も必要だが現況など説明し体得も大事だという事を伝えながら実習をさせているが、なかなか伝わらないところがある。	
	本校の卒業生を含め、病院等で活躍している人に授業や講演等を行ってもらい、より実践的な「基礎力」を育成できるように努める。	3. 1	3. 5 (+0. 2)	○後期の歯型彫刻、診療補助で技工士の方のご講義を実施した。○卒業生や現場の衛生士さんの講演・講義を毎年実施し現場の状況を学習することができている。また学生にも講演会の参加を呼びかけ、参加させている。	

項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	年度末	
生活指導	全教職員で礼儀指導を行う。また、問題行動の予防に努める。	挨拶・礼儀及び容儀等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせるよう努める。	3. 5	3. 4 (+0. 3)	○身だしなみや挨拶など、常日頃より指導を行い、気になる学生に関しては保護者にも伝え改善をお願いするなど、徹底させている。年々改善してきているように思える。 ●特に実習の中で身だしなみ、挨拶・言葉遣い、返事などについて、日常的に指導を行っているが、まだ改善されていない点もある為、日頃からの指導が必要である。
		悩みを抱える学生の早期発見に努め、適切な教育相談を行い、問題行動等を未然に防ぐよう努める。	3. 4	3. 6 (+0. 3)	○クラスで、グループ内でのトラブルがあったが本人に聞き取りをするなど、長崎国際大学の臨床心理士のアドバイスを得ながら対応を行った。また保護者の方へも面談時に家庭での協力等をお願いした。○全職員で情報を共有し、声掛け見守りを実施している。又臨床心理士の先生と相談し、早期対応に努めた。
進路指導	面談や適性検査等を実施し、学生の希望にマッチングした適切なキャリアサポートを行う。	進路意識の調査・把握をし、学年に応じて、就職への動機づけを高めるための個別面談や指導に努める。	3. 3	3. 1 (-0. 3)	○1年次より個人面談、保護者面談で興味のある事(例えば子供が好き、高校の時保育科だった等)を聞き、小児歯科を薦めるなど早めに就職への意識付けを行っている。○保護者面談も各学年行っており、また、二者面談も行っている
		就職活動の進め方のほかに、病院毎の人材ニーズ等を踏まえ、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努める。	3. 0	3. 0 (-0. 1)	○今年は3年生を対象に就職セミナーを業者に依頼した。好評だったので次年度も実施予定であるが、実施時期を早める方向で検討している。。
		家庭との連携・協力に加え、挨拶・5S運動(躰・整理・整頓・清掃・清潔)やボランティア活動など、豊かな人間を育む教育に努める。	3. 4	3. 3 (+0. 1)	●掃除の徹底、机、教室など、毎日整理整頓はとても良く出来ており、各自が気がけて生活出来ている。しかし、学年によってばらつきがあり、全学年徹底させたい。 ●挨拶の声が小さかったり、礼の仕方など不十分な学生もおり、指導を徹底させる必要がある。
資格取得の指導を徹底し、就職率の向上に努める。	国家試験歯科衛生士の資格合格率100%を目指す。	3. 9	3. 8 (+0. 1)	○毎年、前年の反省をふまえて成果に繋がる指導を取捨選択し、学生のニーズも聞きながら、学習計画を作成・個人指導を含め課題を与えるなど、今年度も100%合格を目指して細かな指導を行った。○3年生だけの対応でなく入学時から国試を意識させた授業を展開していく必要性を感じ、早期に模擬テスト等を実施している。	
	採用情報を入手し、就職の門戸を拡大し、学生の希望に沿った歯科医院への就職率100%を目指す。	3. 6	3. 5 (-0. 1)	●市内就職の魅力伝える院内見学を、今年度は採用試験開始時期に合わせて11月に実施し、原則、1医院以上の見学を義務づけた。しかしながら、市内求人件数に対して、受験者が少なかつたので、今後も市歯科医師会との連携のもと、対策を講じていきたい。今年度は福岡県への就職が増加した。	

項目	目標	具体的方策	評価		成果と課題
			前期	年度末	
社会人基礎力	思考力や創造力を伸ばし、物事に主体的に取り組む力や実行力の育成を図る。	現状を分析し、目的や課題を明確にすることにより、課題解決のプロセスを作成することができる能力を育成する。	2.9	2.6 (-0.2)	●数年前から、校内実習の中でアクティブラーニングの形式を用いて、現状分析をし課題解決力の育成に努めているが、今後も継続したい。
		自ら目標を設定し、周囲の協力を得ながら、失敗を恐れず、ねばり強く取り組むことができる能力を育成する。	2.8	2.8 (±0)	○実技試験では、合格できるまで何度もチェックしており、その都度指導している。
	コミュニケーション能力を身につけさせ、チームで働く力の育成に努める。	専門家の指導やHR活動等を通して、自分の意見を分かりやすく伝える発信力や意見を丁寧に聞く傾聴力と意見や立場の違いを理解できる能力を育成する。	3.0	3.0 (±0)	○HRで学級レクレーションについて何度も話し合いを行っている。それを通じてクラスがまとまってきていると感じている。○講座の中で専門家の指導は継続して行っている。
		服装や頭髪が華美にならないよう社会のルール約束を守る力や、ストレスへの対応方法などセルフコントロール力を育成する。	3.1	3.0 (-0.1)	○医療人として身だしなみ等については、HR、各行事毎に指導を行っている。○始業式等の節目に全体で容姿検査を実施している。また華美になっている学生へは指導を繰り返している。●ストレスの対応については、アドバイスはするものの、育成にはなかなか繋がらない。専門的アドバイスが必要な学生が増えている
組織運営	経営方針・努力目標に沿って、その実践に努める。	明示された中長期の学校経営ビジョンを含め、経営方針・努力目標を全職員が共有し、教育実践に努める。	3.1	3.0 (+0.1)	○目標達成できる様、工夫をこらして授業を展開している。
		教員間の授業研究(打ち合わせ・反省等)を行い、授業内容を相互評価し、教員の専門性や指導力の向上に努める。	3.0	2.9 (±0)	○授業前後の打ち合わせ、反省、学生の反応などを報告しあい、課題や授業中の小テストなど、その時に応じて対処するように教員間で話あっている。
		学校自己評価(職員・学生)及び学校関係者評価を年2回実施し、年度末評価をホームページ等で発信する。	3.4	3.4 (+0.4)	○予定通り実施した。
	定員の確保に向けて学生募集に努める。	高校訪問や進路ガイダンス・ホームページ・学院便り等を活用し、教育内容や在校生・卒業生の状況説明や学校のPRに努め、定員の確保に努める。	3.6	3.4 (±0)	●学院のInstagramは若い世代にも気軽に見てもらっているようだ。細めに学校行事や実習風景などを発信できるのでPRに繋がっているが、学生募集に繋がっていない。○40周年の節目を迎え、同窓会(一華会)でも、学院のHPやライブ佐世保、歯科医院へ書類を送り、名簿作成の取り組みを始めた。家族や親族友人などに声掛けして頂き、ラインやロコミで学校のPRが出来るように繋げていこうと考えている
		受験生や保護者に分かりやすい募集要項(学校案内)を作成し、高校訪問・オープンキャンパス・進路ガイダンスに活用する。	3.6	3.4 (-0.5)	●パンフレットやDVDによりPRが出来た。オープンキャンパスでは自分の現場での体験をもっと伝え、興味を持ってもらえるようにしたい。
	施設・設備の有効な活用と安全点検等の管理を適切に行う。	教育活動や指導は、常に安全を優先して行い、施設・設備の安全点検は月1回以上行う。	3.4	3.4 (+0.2)	○日常的に意識し、問題等があれば、すぐに報告し改善することができた。
日頃から、環境整備を心掛け、省エネ運動を推進し、水道使用量や電気使用量を必要最小限に抑えるように努める。		3.8	3.6 (+0.2)	○常日頃より声掛けを行い、以前にも増して気がける学生も増えてきている。特に電気は必要最小限に抑える事を意識できた。	
パソコンによる学生情報等の管理と校務処理を推進してデータの共有化を図り、効率的な事務作業に努める。		3.3	3.4 (-0.1)	○法人本部の協力を得ながら、個人情報の管理を徹底した	